

気候変動に関する政府間パネル(IPCC)は、昨年10月の第48回総会を経て公表された「1.5°C特別報告書」

など、気候変動対策に必要な科学的知見を提供する重要な役割を担っています。

本年5月には、京都議定書誕生の地である京都市で、第49回総会を開催します。本総会では、我が国が長年にわたって活動を支えており、またパリ協定の実施にとっても重要な、各国の温室効果ガス(GHG)算定のためのガイドライン方法論報告書の改良版(2019年方法論報告書)が議論される予定です。さらにIPCCは、今年公表予定の「土地関係特別報告書」及び「海洋・雪氷圏特別報告書」、2021年から2022年公表予定の、より包括的な内容を網羅する「第6次評価報告書」の作成を進めています。

このたび、基調講演では、IPCCの共同議長2名をお迎えし、これらIPCCの取組を紹介いただくとともに、パネルディスカッションでは、気候変動に対する企業活動等の備えや啓発方法に焦点を当てた取組を報告いただき、今後の展開を議論します。

2019 2.19  
TUE

# 気候変動への適応

IPCCシンポジウム

開会挨拶 環境省

基調講演

講演1 IPCC第6次評価報告書作成に向けて  
ハンス・ポーター IPCC第2作業部会(WGII)共同議長

講演2 IPCC第49回総会の京都開催に向けて  
田辺 清人 IPCCインベントリータスクフォース(TFI)共同議長



ハンス・ポーター

パネルディスカッション

モデレーター | 田辺清人 IPCC/TFI共同議長

ハンス・ポーター IPCC/WGII共同議長  
脇岡靖明 国立環境研究所 気候変動適応センター  
三浦仁美 積水化学工業 経営戦略部環境経営グループ  
秋元智子 全国温暖化防止活動推進センター  
下間健之 京都市環境政策局  
大井通博 環境省地球環境局総務課研究調査室



田辺 清人

日時 2019年 2月19日(火)  
13時30分~16時40分(開場13時)

定員 200名 主催 環境省・京都市  
\*同時通訳(日本語・英語)あり

場所 千代田放送会館  
2階ホール 〒102-0094  
東京都千代田区紀尾井町1-1  
アクセス) 永田町駅から徒歩3分/麴町駅から徒歩5分  
赤坂見附駅から徒歩9分/四ツ谷駅から徒歩12分

質問可能なライブ中継あり▶ YouTube

## 講演者プロフィール

### ハンス・ポーター

動物生理学を専門とする研究者としてカナダやアメリカでの研究活動を経て、現在はドイツのアルフレッド・ウェグナー研究所総合生態生理学セクション長、プレーメン大学教授を務める。温暖化、海洋酸性化、海洋生物・生態系の低酸素化の影響を研究。IPCC AR5 WG2代表執筆者で、現IPCC第2作業部会共同議長。

### 田辺清人

IPCCインベントリータスクフォース(TFI)共同議長  
東京大学理学系大学院にて気象学専攻。日本の温室効果ガスインベントリー作成、IPCCやUNFCCCなどにおける国際的な活動に長年にわたり従事。IPCC第42回総会(2015年10月)でTFI共同議長に選出、現在に至る。

### 脇岡靖明

東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。同年から国立環境研究所勤務。3年前から東京大学大学院 新領域創成科学研究科 環境システム学専攻 客員教授を併任。現在は国立環境研究所気候変動適応センター副センター長。IPCCでは第二作業部会第五次評価報告書第24章(アジア)の統括執筆責任者、1.5°C特別報告書第3章代表執筆者を務めた。

### 三浦 仁美

1995年積水化学工業(株)入社。入社以来、耐火・断熱材料等のエネルギー制御材料の開発に従事。5年前より現職。製品を通じた環境貢献を軸に、会社の環境経営に関する中長期計画立案や施策提案を担当。現在、環境経営グループ担当部長。

### 秋元 智子

1994年から東京北区の民間団体「NPO法人北区リサイクラー活動機構」で環境活動を開始。地域レベルでの草の根活動を主に、地域の環境活動のコーディネータ的な役割を担う。昨年7月、地球温暖化防止全国ネットの専務理事に就任し、全国58の温暖化防止の地域センターのコーディネーター役を担っている。

### 下間 健之

京都市環境政策局 地球環境・エネルギー担当局長  
1987年京都市役所入庁。秘書課長、京都マラソン担当部長、地球温暖化対策室長等を経て2017年から現職。「IPCC総会京都市開催」を気候変動対策に取り組む機運盛上げの好機とすべく市内全11行政区でリレー事業を展開中。

### 大井 通博

環境省地球環境局総務課研究調査室長  
1995年環境庁入庁。大気汚染対策、化学物質管理等を担当の後、2011年から気候変動に関する国際交渉を担当。2015年12月「パリ協定」採択に担当室長として関わり、2018年から現職。第49回IPCC総会の開催準備のほか、国・地域の気候変動適応策を推進している。

## IPCCシンポジウム参加申込

参加費無料

事前申込制

質問可能なライブ中継あり▶ YouTube

<https://www.gef.or.jp/news/event/190219ipccsympo/>

2月19日(火) 千代田放送会館にて開催

申込・問合せ先

(シンポジウム事務局) 地球・人間環境フォーラム

TEL:03-5825-9735 / FAX:03-5825-9737 / Eメール:climate@gef.or.jp

申込締切

2019年2月15日(金) 必着

申込用QRコードまたは、電話/FAX/電子メールにて受付

定員

200名

シンポジウムへのご参加には申込QRコード(推奨)からまたはE-mailか電話、FAXでの事前申込みが必要になります。

※なお、マスコミ関係の方は、必ず事前に上記申込み先まで取材登録をお願いいたします。 ※参加募集は期限内であっても定員に達し次第締め切らせて頂きます。ご了承ください。

紙資源節約のため、資料をウェブサイトで提供する予定です。 > <https://www.gef.or.jp/news/event/190219ipccsympo/>

### 電話、FAX、Eメールでの参加申込

件名に「IPCCシンポジウム参加申込」と明記の上、

- ①氏名(ふりがな)
- ②E-mailアドレスまたはFAX番号
- ③電話番号

TEL:03-5825-9735

FAX:03-5825-9737

Eメール:climate@gef.or.jp

- FAX申込みの場合、FAXされた用紙をご持参下さい。
- Eメール送信の際は、開封確認通知をご利用下さい。
- ご記入いただきました個人情報は、今後、同種のご案内に限って活用させていただくことがあります。

個人情報の取り扱いについて(一般財団法人地球・人間環境フォーラム)

お預かりする個人情報は、本シンポジウムの傍聴受付のために利用させていただきます。お預かりした個人情報を集計作業等のために他に預託することはございません。お預かりする個人情報は、一般財団法人地球・人間環境フォーラムの「個人情報の取り扱いについて」(<https://www.gef.or.jp/privacy/>)に従って適切に取り扱います。お預かりしている個人情報の削除等のお申し出、その他のお問い合わせにつきましては、上記の申込先までご連絡ください。

### 申込用QRコードでの参加申込

右のQRコードまたは

<https://business.form-mailer.jp/fms/2c83c8de72751>

から申込フォームにアクセスして、必須項目を入力してください。

